2025 年 8 月 19 日

公益財団法人 日本テニス協会

スポーツ仲裁パネルによる仲裁判断の取消しのお知らせ

当協会が主催する実業団対抗戦である、2022 年度・第 37 回テニス日本リーグ（以下「本大会」）に関する、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構・スポーツ仲裁パネルによる 2022 年 11 月 21 日付け仲裁判断（JSAA-AP-2022-013）（以下「本仲裁判断」）は、東京高等裁判所の 2025 年 4 月 30 日付け決定により、当協会の主張が認められ、本仲裁判断の有効性の根拠となる仲裁合意が存在しないことを理由に取り消されました（なお、本仲裁判断のうち、選手登録に関する部分は、対象となった大会終了により裁判所として取り上げる利益がないとされました）。2025 年 7 月、上記の本仲裁判断の取消しが最終確定しましたのでお知らせいたします。

2022 年 11 月 24 日付けにてお知らせいたしましたとおり、本仲裁判断は、有効な仲裁合意が存在せず、スポーツ仲裁パネルに判断権限がないにもかかわらず下されたものであり、また、内容面においても、当協会に対し、1 名の選手を 2 つの実業団の所属選手として登録するよう命じるという、スポーツの団体戦の公正確保のための原理に背馳するものでありました。司法判断においては、当協会の主張が認められたことに安堵すると共に、当協会は、引き続き、スポーツガバナンスに基づく、公平・公正な大会運営を全うして参ります。

以上